

卸売物価指数における調査価格の変更実績（2002年7～9月中）

1. 調査価格の変更件数

()内は前年、[]内は全体の調査価格数<2002/1月時点>

主な類別	件数	主な品目名
国内卸売物価 [3,379]	131(152)	
その他工業製品	40(4)	配合飼料、ベッド、漆器製台所・食卓用品、辞典、学習参考書、教科書、革かばん、児童乗物、歯ブラシ
電気機器	39(36)	電子計算機本体、入出力装置、ビデオテープレコーダ、ビデオカメラ、電気がま、電気カーペット、携帯電話、テレビジョン・ビデオ用チューナ、太陽電池
化学製品	12(24)	乳液、化粧水、パック、モイスチャークリーム
輸送用機器	7(7)	軽乗用車、小型乗用車、フォークリフトトラック
金属製品	6(16)	石油ストーブ、温風暖房機、機械刃物、うす板ばね
非食料農林産物	6(1)	繭
一般機器	5(10)	マシニングセンタ、農業用乾燥機、工業用マシン
輸出物価 [627]	32(53)	
電気機器	11(12)	電子計算機本体、ビデオカメラ、重電発電機、表示管
輸送用機器	8(12)	小型乗用車、普通乗用車、フォークリフトトラック
化学製品	5(8)	ポリスチレン、ABS樹脂、合成ゴム
一般機器	3(3)	掘さく機、ニット機械、複写機
その他工業製品	3(1)	電球・電子管用ガラス、がん具、筆記具
輸入物価 [896]	26(57)	
機械器具	11(16)	バルブ、電子計算機本体、オーディオ、航空機
その他産品・製品	5(8)	自動車タイヤ、スキー用具、ハンドバック
金属・同製品	3(4)	手持工具
石油・石炭・天然ガス	2(0)	液化石油ガス
化学製品	2(6)	酸化チタン
合計 [4,902]	189(262)	

(注) 調査価格の変更：調査対象商品の変更、取引条件の変更、調査先の変更、輸出先・輸入元の変更、契約通貨の変更等。

2. 新旧商品の品質調整の方法

件、()内は前年

	国内卸売物価	輸出物価	輸入物価	合計
コスト評価法	32(36)	7(8)	6(12)	45(56)
オーバーラップ法	15(19)	2(5)	3(11)	20(35)
ヘドニック法	9(6)	2(2)	1(0)	12(8)
直接比較法	33(25)	11(6)	4(7)	48(38)
単価比較法	0(4)	0(0)	0(0)	0(4)
比較困難	42(62)	10(30)	11(23)	63(115)
その他	0(0)	0(2)	1(4)	1(6)

(注1) 各品質調整方法の内容とその具体例については、「卸売物価指数の解説」付録編の付8「品質調整の具体例」をご覧ください。

(注2) その他は、契約通貨の変更等。

3. 指数上の処理

件、()内は前年

	国内卸売物価	輸出物価	輸入物価	合計
値上げ	10(2)	3(1)	2(2)	15(5)
保合	77(116)	17(44)	19(46)	113(206)
値下げ	44(34)	12(8)	5(9)	61(51)

(注) オーバーラップ法(新旧商品の価格差を両商品の品質差とみなして、実質保合いで指数を接続する方法)を適用したケースについても、新しい調査価格が前月に比べ下落(上昇)している場合は、値下げ(値上げ)処理として扱っている。

4. その他

【価格調査段階の変更<国内卸売物価>】

()内は変更を行った調査価格数

類別	品目名	変更内容	実施月
金属製品	温風暖房機 (1)	生産者 卸売	9月
一般機器	油圧モータ (1)	生産者 卸売	8月
電気機器	電気温水洗浄便座 (1)	生産者 卸売	9月
"	電気カーペット (1)	生産者 卸売	9月
輸送用機器	軽トラック (1)	卸売 生産者	7月

需給の動きや技術革新の影響を含めた価格動向を、よりの確に指数に反映する目的で実施。

以上